

神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス体育館で開催

神奈川大女子が優勝  
7年振りの快挙に沸く



優勝旗とカップを前に満面の笑顔で喜ぶ選手たち

第63回春季神奈川県学生剣道選手権大会が、6月10日、神奈川大学湘南ひらつかキャンパス体育館で開催されました。女子団体戦に参加した神奈川大女子チームが優勝しました。神奈川大女子チームの優勝は、平成23年以来7年振りの快挙です。大会種目は、男女別の個人戦・団体戦で覇が競われました。女子団体戦は、10大学が3グループに別れたリーグ戦で、神奈川大は第2位でリーグを突破し、決勝トーナメントにコマを進めました。横浜国大、東海大に競り勝ち、決勝戦は、関東学院と闘い、3勝1敗1分けて撃破し見事優勝しました。

なお、今回の大会は、神奈川大学が幹事校で学生たちは、前日から夜遅くまで準備するなど全員が一生懸命取り組んでいました。今後も、先輩、保護者の皆様の応援をお願いします。

学生諸君の努力に期待



名誉会長 登坂 重治

剣道部の創部は大学の前身である横浜専門学校設立の歴史と共にありますが、平成25年剣道部創部80周年記念を迎えてから5年を過ぎ、節目の85周年を迎えました。

これまで御支援頂きました学校関係の皆様、剣友会並びに剣道部現役の皆様、御父兄の皆様方に厚くお礼と感謝申し上げます。

今回の記念の年を機に剣友会皆様方の固い結束を希望すると共に剣友会皆様方の御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。また、神奈川大学剣道部員の皆様には、我が剣道部が関東学生剣道界、全日本学生剣道界においても歴史と伝統のあることを認識し、部員一同一体となって努力精進していくことを期待します。

私の神奈川大学卒業アルバムに故米田吉盛学長の『夫（そ）れ功の成るは成るの日に成るに非ず』との揮毫と写真が載っております。

つまり、成功は、その日一日で成し遂げられたわけではなく、それまでの積み重ねがあつてこそはじめて実現するものです。

不退転の気持ちをもって頑張ってください。

皆様方の御健勝、御多幸を祈念し、今回の記念の年を機に次なる90～100周年へと発展出来る様期待します。

皆様方の御協力、御支援をお願い申し上げ、剣道部創部85周年のお祝いの言葉と致します。

生涯剣道を実践



剣友会会長 脇坂 忠男

最近、神奈川県剣道連盟の初段審査の筆記問題は、貴方が剣道を始めるときは何ですか、との問いであります。私が剣道を始めの動機は歳老いてもできることが最大の動機でありました。

高校時代は中長距離の選手でした私は、大学に入学してから初めて剣道を始めました。卒業時は、三段でありました。その後、職業的理由のため、37年間稽古らしい稽古はできず定年退職を1999年に迎え、その年の6月に再開したものであります。

しかし、既に60歳の私にとって剣道の稽古は非常に過酷なものでした。三段で60歳の老人に指導して下さる方はそんなに居らっしゃいません。60歳まで稽古を続けておられる先生はすでに六段七段でいらっしゃいます。私のような初心者同様な老人に手を貸して下さった先生方には感謝の申し上げようもありませんが、ありがたいことでもあります。現在は七段をいただき、剣道始めた動機と同じ生涯剣道の最終章に入らんとする所ではないかと思ひ修業しております。

後輩の皆さん卒業して止む無く稽古に縁遠くなる人も居ると思いますが、必ずその機会はやってきます。私にもその機会が来て生涯剣道が出来ているのですから、その時は必ず道場に立ってください。生涯剣道についての私の思いを述べましたが、我が剣道部創部85周年のお祝いの言葉と致します。

記念の年に運を感じます



男子主将4年 根上 郁哉

本日はお忙しい中、神奈川大学体育会剣道部創部85周年記念祝賀会にお集まりいただき誠にありがとうございます。このような記念すべき年に主将を務めさせていただくことは、身に余る思いであり、大変光栄に感じております。

このような記念の年には何か運のようなものが宿っていると私は思います。ですので、今年こそは全日本に出場し、OB、OGの皆様方、大学の方に良い報告ができるよう、より一層稽古に励んでいきたいと思ひます。

神奈川大学体育会剣道部がこれからも長く、90年、100年と歴史を刻めることを祈って、あいさつとさせていただきます。

全日本出場を目指します



女子主将4年 神戸 紅子

この度、神奈川大学体育会剣道部創部85周年を迎えられたことを大変嬉しく、また、誇りに思ひます。こうして85年の歴史を繋げてきたのも先生、先輩方の御支援あつてのことであると感じています。

私たち女子チームが、春季神奈川県学生剣道選手権大会で7年振りの優勝ができましたことも皆様のご支援のお陰であり、心から感謝申し上げます。秋の大会で全日本出場のキップを勝ち取れるよう全力で頑張ります。

これからも創部85周年の歴史に恥じぬよう、また、より発展していけるように日々の稽古に精進致しますので、何卒御指導、応援の程宜しくお願ひ致します。